

令和 6 年

第 2 回防府市議会定例会

一 般 質 問

6 月 1 9 日（6 人）

1 河村 孝・2 安村 政治・3 梅本 洋平・4 山田 耕治
5 石田 卓成・6 宇多村 史朗

6 月 2 0 日（6 人）

7 田中 健次・8 河杉 憲二・9 高砂 朋子・10 村木 正弘
11 清水 力志・12 松村 学

6 月 2 1 日（5 人）

13 藤村 こずえ・14 三原 昭治・15 吉村 祐太郎
16 和田 敏明・17 曾我 好則

No.	1	河村 孝
質 問 事 項		要 旨
1	野島、向島の振興について	野島、向島では、自然や文化の継承、水産資源の供給といった多様な役割を担う重要な存在である。しかし、高齢化や人口減少は急速であり、空家が増加し、里道など、生活基盤の維持も困難になってきている。 持続可能で、安心して住み続けられるために、また、定住人口の増加、交流人口の増加のために、対策が必要と考えるが、ご所見を伺う。
2	子どもたちの保健の向上について	本年10月から、待望の高校生までの医療費無償化がスタートする。一方で、学校で行われている健康診断結果により、受診勧告を受けているにもかかわらず、受診していない家庭のことが心配されている。 保健指導、保健だより等を通した児童生徒や保護者への啓発は行われているが、本市として、より一層、受診を促す周知が必要と考える。ご所見を伺う。
3	市職員の職場環境の向上について	安心して職務に専念できる環境づくりのために、名札の名字だけの掲載や顔写真の廃止、ナンバーディスプレイや録音機能の電話機への搭載など、時代の要請として必要だと考えられる。 また、柔軟な働き方や業務効率化に資する、デジタルの環境の向上も必要だと考える。 市職員の職場環境の向上をどのように考えるのか、ご所見を伺う。

No.	2	安村 政治
質 問 事 項		要 旨
1 防災対策について		総合計画の「安全・安心を第一にしたまちづくり」は、順調に進んでいるが、近年、日本各地で大雨による被害が頻発し、また、能登半島地震の記憶も新しい。 市民の防災に対する関心が高まっている中、大雨や能登半島地震を踏まえた本市の防災対策について伺う。

No.	3	梅本 洋平
質 問 事 項		要 旨
1	市における熱中症対策について	近年の気温上昇に伴い、全国においても熱中症による緊急搬送、死亡者数が増加傾向にあり、死亡者が1000人を超える年が頻発している。市においても熱中症対策は急務である。熱中症の起因場所の3分の2が屋外とのデータもあることから、室内の対策ももちろんであるが、小中学校での屋外活動や部活動、市民スポーツの場や、この夏予定している野球場リニューアル記念事業など、熱中症による健康被害を危惧しているところ。市のこれからの熱中症対策への考え方を伺う。
2	開発行為に伴う公園等の設置基準緩和について	都市計画法では、良好な市街地の形成を図るため、開発区域の面積が3,000平方メートル以上の開発行為にあっては、原則として、開発面積の3パーセント以上の公園、緑地または広場を設置することとしているが、小規模な宅地開発の増加に伴い利用頻度の低い小規模な開発公園の設置が増加している。 そのような中、都市計画法一部改正により公園等の設置基準の緩和ができるようになったが市においても検討してみてはいかがか。

No.	4	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1	大平山山頂公園の活用について	1. 大平山の山頂公園は伐採した木材を活用し、遊具も充実される。市民の憩いの場として、また、他市からも沢山の来園者があるように期待しているが、今後の施設整備計画は？ 2. 山頂公園で、花火等、禁止されている行為をされる方がおられるとのこと。管理やルールという点での考えは？ 3. 山頂公園に行くまでの農道の適切な維持管理も必要と考えるが如何か？ 4. 海の公園はメバル公園、山の公園は大平山山頂公園と、市内外に認知してもらうキッズパークにするために、山頂公園も命名募集をしては如何か？
2	学校給食について	1. 今までも子どもの発育急進期の話をしている。今回で4回目になるが、この思春期の大切な時期に食材の選び方や最適な栄養バランスのとり方、正しい食習慣等を教える機会を設けることが必要と訴えてきたが、その後の取組みを問う。 2. ミネラル豊富な天然塩を使用できないか？という提案で当時の教育部長は、今後は、可能な限り天然塩の使用を検討するということで、県内産の天然塩を給食センターで使用しているが、自校式の学校への対応は？
3	職員のメンタルヘルス等について	1. 市職員のメンタルケアの取組みは？ 2. 早期退職される方の推移は？ 3. 嫌がらせ電話や行為等、どのように対応しているのか？ 4. カスタマーハラスメント対策も含め、職員の名札は苗字だけにしてみてもは？

No.	5	石田 卓成
質 問 事 項		要 旨
1 がんばる地域応援事業について		(1) この事業は失われた地域の共同体を回復できる可能性のある素晴らしい事業だと考えていますが、執行部として、この事業の目的と、事業によって目指すべき姿について、どのように考えておられるのかを改めて教えてください。 (2) この事業の推進について、庁内でプロジェクトチームを立ち上げられているとのことですが、どのような体制になっているのか、また、どの程度の頻度で協議を行っておられるのかを教えてください。 (3) 現時点で、どのような地域課題の相談があったのか、内容や件数を教えてください。また、どのような傾向があると受け止められたのかを教えてください。 (4) 今の事業の仕組みでは申請に至らなかった相談内容を、その理由と一緒に教えてください。 (5) この事業により、地域の課題解決に向けての相談について、複数の部署が連携して対応するようになる（つまり、少なくとも公の相談についての、たらい回しが無くなる）と考えておりますが、執行部としても同じ認識ということで宜しいでしょうか。 (6) 今年度に受けた相談の内容をもとに、この事業がさらに良くなるよう年々見直しをしていただきたいと考えているが、執行部としてはどのようにお考えか教えてください。

No.	6	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
1	これからの防府市の農業振興の取り組みについて	「農林業の知と技の拠点」が防府市に整備されて約１年が経つ。 先月には防府市農業公社・やまぐち農林振興公社と山口県農林総合技術センターとの「地域農業の担い手育成に向けた連携協定」が締結されたところだが、今後、この３者協定を市としてどのように支援し、土地利用型農業の推進に取り組んでいくか伺う。
2	介護人材の確保について	現在介護保険事業の課題として、介護施設での介護人材の確保が指摘されている。市としてこの問題に対し、どのように対策されていくお考えか伺う。

No.	7	田中 健次
質 問 事 項		要 旨
1	手話言語条例の制定について	(1) 障害者権利条約と障害者基本法は、手話が言語であることを明記しました。しかし、日本では、それまでは手話を言語とみなさない、身振り言葉として差別されてきた歴史があり、長い間、言語としての地位が与えられてきませんでした。 手話言語に関する差別的な事例をなくし、手話言語の理解を進めるため、県内他市で進んでいる手話言語条例の制定を検討すべきではないか。
2	校則の見直しについて	(1) 宇部市では、昨年7月に「校則見直しに関するガイドライン」を策定し、このガイドラインに基づき、すべての小・中学校において、児童・生徒が主体的にゼロベースから校則の見直しを行ないました。 こうした取り組みは、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していくという主観者教育ともいえるものであり、防府市でも検討すべきではないか。
3	学校生活における紫外線対策について	(1) 世界保健機関は、子ども時代の日焼けが後年の皮膚がんや白内障のリスクを高めると指摘し、日本臨床皮膚科医会・日本小児皮膚科学会は、プールの水質汚濁の懸念の少ない耐水性クリームの使用をラッシュガード等の着用とともに推奨しています。 プールでの日焼け止めクリームの使用など、学校での紫外線対策についてどう考えているのか。

No.	8	河杉 憲二
質 問 事 項		要 旨
1 民間活力を後押しするまちづくりの取り組みについて		(1) 現在、総合計画に基づき、駅周辺におけるまちづくりが目に見える形で進んできている。 3月にはプリズムストリートが開通し、人や車の流れも変わってきており、近隣の商店街のアーケードを含め一体的にまちづくりを進める必要があると考える。 しかしながら、アーケード自体の老朽化も目立ってきており、安全・安心の面からも問題があると思われる。 アーケード周辺のまちづくりを進めるにあたっての、執行部の考えを伺う。

No.	9	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
1	子どもの健やかな成長のための切れ目ない支援について	1. 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を統合した「こども家庭センター」が今年度開設され、令和7年1月には、華城に移転オープンされる。今後の具体的な取組を伺う。 2. 令和4年12月1歳前後の乳幼児への支援の重要性を訴え、以後、1歳児健診の導入を重ねて要望。本市のご所見を伺う。
2	未来を拓く児童生徒への支援について	1. 一人ひとりに光をあてた誰も置き去りにされない教育を行うため、通常の学級での学習や集団での生活が困難となった不登校等の児童生徒に対するさらなる支援が必要では。オアシス教室やステップアップルーム等の取組を伺う。 2. 子ども達の健やかな成長のために、市教育委員会と保育事業である留守家庭児童学級や留守家庭児童クラブとの連携が重要。本市の取組を伺う。 3. 安全・安心の学校給食を提供するために、調理機器及び器具のチェック体制の強化、徹底を図ると共に、老朽化対策、更新が重要。本市の取組を伺う。
3	災害時のトイレ環境の充実について	災害時のトイレ確保は、時間経過、被災状況に応じて良好なトイレ環境を切れ目なく提供する事がさらに重要では。本市の取組を伺う。
4	市営住宅の保証人の取り扱いについて	今後、市営住宅を希望しても、入居に際して保証人の確保が困難なケースの増加が見込まれる。保証人の廃止や法人による保証制度の導入を検討すべきでは。本市のご所見を伺う。

No.	10	村木 正弘
質 問 事 項		要 旨
1	健康寿命促進対策の現状と今後の対策について	COPD とは、慢性閉塞性肺疾患のことで、2021 年の調べでは、世界の死因の第 3 位、日本人男性の死因の第 9 位に挙げられる。ゆっくりと進行していくことから、「肺の生活習慣病」といわれている。健康寿命促進のため早期発見、早期治療が大切と考える。そのためにもまずは COPD を知ってもらうことが必要。COPD を正しく理解し早期発見・早期治療につなぐための市の取り組みを伺う。 1) COPD の患者の状況について 2) COPD の早期発見の取り組みについて
2	環境衛生の推進について	令和 2 年 6 月 1 日より改正動物の愛護及び管理に関する法律が施行され、動物の虐待等に対する罰則が強化された。本市では TNR 活動を実施する市内の団体が、飼い主のいない猫に市内の動物病院で不妊去勢手術を施した場合、その費用の一部を助成する実証実験を令和 4 年度から同 6 年度まで行っている。 1) 飼い主のいない猫に関する苦情等の数の状況は如何か 2) これまでの TNR 活動にかかる猫不妊去勢手術補助金の申請状況は如何か 3) 今年度で実証実験が終了予定とされている TNR 活動にかかる猫不妊去勢手術補助金について、現時点どのようにお考えか

No.	1 1	清水 力志
質 問 事 項		要 旨
1 病児保育について		(1) 病児保育事業の現状は (2) 病児保育の利便性の向上及び拡充をお願いしたいが、如何か。
2 高齢者等バス・タクシー 運賃助成制度の拡充等について		(1) 高齢者等バス・タクシー運賃助成制度について、運転免許証を持つ高齢者にも対象者を拡充できないか。 (2) 山口市同様、高齢者のバスの運賃を 100 円にする制度を作ってみたら如何か。
3 市職員の職場環境について		(1) 2024 年 4 月 21 日付山口新聞で「自治体退職 10 年で 2 倍」とあるが、防府市の傾向はどうか。 また、早期退職者を減らすためにどのような対策を行っているのか。 (2) 昨年 10 月に人事異動が行われたが、その意図は。 (3) 現在、職員の勤務時間と窓口業務の受付時間が同じであるが、これでは恒常時に時間外勤務が発生していると言ってもいい。窓口業務の受付時間の見直しが必要ではないか。

No.	1 2	松村 学
質 問 事 項		要 旨
1 企業誘致について		本市の企業誘致は防府テクノタウンなど民間企業の開発した企業団地を中心に行われている状況です。先の議会で、市長からの答弁で、台道鑄銭司間の国道2号線の4車線化が事業決定を契機に台道の適地に企業団地を造成するとご答弁がされました。久々に市が主導して造成する団地となります。その近くには山口南インターや防府東インターが10分程度でアクセスでき、交通の利便性が県内でも1位と言っても過言ではないアクセス性となっています。製造業はもとより、大きな物流企業の進出も期待できます。現在、市全体としても新たな企業立地をする場所もなく、条例により調整区域内で特別に企業立地できる用途の地域もありますが、そこも満杯になっています。そこで以下質問します。 ①防府市域で都計法34条11号の基準のうち、いわゆる準工業地域ぐらいの用途と条例で定めている区域を拡大できないか？ ②以前は土地取得費30%など市独自の誘致制度がありましたが、今はありません。台道の企業団地の整備を決定したことを契機に、防府市の企業誘致制度を今一度、拡充できないか？ ③台道の企業団地の規模や区画数はまだどの程度にされるか決定されていないと思いますが、企業にDMやPRを県と連携して行い、その数や反響に見合う整備をしていただきたいが、いかがですか？

No.	13	藤村 こずえ
質 問 事 項		要 旨
1 新庁舎における新たな機能と市民サービスについて		池田市長が就任後、真っ先に取り組まれてきた新庁舎建設は、完成に向けて佳境を迎えている。新たなまちの象徴となる新庁舎のオープンを心待ちにする市民の声も聞かれるところである。 県施設や文化センター、社会福祉協議会など、多くの行政機能が集約化され、来庁者も増える新庁舎においては、どのような新しい機能が加わり、新しい市民サービスが提供されるのか伺う。
2 防府市の目指す持続可能な農業の実現について		本市中部の佐波川流域に広がる肥沃な農地は一大農業生産地として古くから開けており、水稻をはじめ、施設園芸のハウスなど、四季折々の田園風景を見ることができる。 一方で、本市も農業人口の高齢化、担い手不足、食生活の変化等により、耕作放棄地の増加等、今後の農業や農地が抱える課題は山積している。 そのような中、佐波川左岸側の華城地域においては保全会を立ち上げ、故郷の景色を守るため、環境整備に取り組んでおられるところでもあるが、今後、市として、どのように持続可能な農業を実現していくのか、ご所見をお伺いする。

No.	1 4	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1 開発広場の 維持管理について		(1) 住宅建設等における開発行為に伴う一定面積以上に対して、開発広場を設置するようになっているが、既存の開発広場についての維持、管理はどのようなになっているのか。
2 向島運動公園の テニスコートの整備について		(1) 向島運動公園のテニスコート、特に山側コートはかなりいたみがひどいなど、利用における安全面等からも改修が必要とされているが、市の考えは。

No.	15	吉村 祐太郎
質 問 事 項		要 旨
1 観光振興について		「瑞風」の来訪、NYタイムズ効果を活かした観光振興の取組について
2 自治会について		自治会の入会・脱会のトラブル、家庭ごみの収集等は現在どのように対応しているのか？

No.	16	和田 敏明
質問事項		要 旨
1	通学用かばんについて	①令和6年度も市内全小学校の新一年生に対し通学用かばんを無償で支給したが、その利用度の実態について伺う。 ②通学用かばんを利用している児童の内、市販のランドセルも購入されている児童は何人いるのか。
2	名札について	①小・中学校の名札の取り扱いの進捗状況について（令和4年にも同様の趣旨の質問） ②カスハラに繋がりがねない市職員の名札のフルネームの必要性について
3	熱中症特別警戒アラート発表後の公立小・中学校の臨時休業について	①共稼ぎが多い中、突然の休業に保護者は対応が可能か

No.	17	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1 障がい者福祉施設の 建替えについて		令和４年９月議会において、同僚議員から障がい者福祉施設の建替えについて一般質問した際、第５次防府市総合計画の重点プロジェクトに位置付けて検討を進めており、現実的な現在地での建替えに向けて、大平園だけでなく、愛光園、なかよし園も含めた３施設を１日でも早く建替えられるよう取り組んでいくとのことであった。 これまでの取り組み状況と今後のスケジュールについて伺う。